

平成 27 年度 第 2 回村上地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 平成 27 年 10 月 5 日（火） 13:30～15:05
- 2 開催場所 村上市役所 5 階 第 5 会議室
- 3 出席委員 伴田攻、山口治雄、本間賢五、塚田 進、片野高義
井上敏雄、山貝世津子、浅野謙一、吉田智子、楠田 正
- 4 欠席委員 小野長昭、水野谷理恵
- 5 出席職員 (自治振興課)佐藤課長、太田課長補佐、林係長、矢部主査
(政策推進課)渡辺課長、田村係長、渡辺主査
- 6 傍聴者 0 人
- 7 会議次第 別紙のとおり
- 8 会議経過 別紙のとおり

平成27年度 第2回 村上地区地域審議会 会議次第

日 時：平成27年10月5日（月）

午後 1時30分～

場 所：本庁舎 5階 第5会議室

1 開 会

2 挨拶

3 報 告

(1) 高校生アンケートの分析結果について【資料 1】

(2) 市民アンケート（村上地区）の集計結果について【資料 2】

4 議 事

(1) 村上地区地域活性化推進事業について【資料 5】

(2) 各地域の目指すべき施策の方向性の提言書作成の進め方について【資料 3】

(3) 各地域の課題の整理について【資料 4】

5 その他

6 閉 会

会 議 経 過

1 開会 (13:30)

事 務 局； 本日は、お忙しい中お集りいただきありがとうございます。委員の皆さま方には市の行政運営に対し、格段のご支援ご協力を賜り本当にありがとうございます。まだ3人の委員の方が見えておりませんが定刻となりましたので、ただいまから第2回村上地区地域審議会を開会いたします。どうぞよろしくお願いたします。

事 務 局； 会長が議事進行する以外の部分について進行させていただきます。それでは、次第の2の挨拶を会長からお願いいたします。

2 挨拶

会 長； 皆さん、秋の天気の良い中、さぞかしお忙しい中とは思いますが、お集まりいただき誠にありがとうございます。この5階の第5会議室は、鷲ヶ巢山を背景に非常に気持ちの良い会場です。私もお城山を登ったときに、お城山の頂上で会議をしたら相当違った答えが出るのではないかと1人で考えることがあります。この会議室に居るとお城山とそう代わらない景観で良い会場ですので、ぜひとも、素晴らしいとまでは行かなくて結構ですので、皆様のご意見をお聞かせいただければと思います。よろしくどうぞお願いいたします。

事 務 局； ありがとうございます。続きまして3の報告ですが、これ以降につきましては、会長の議事進行によりお願いいたします。

3 報告

(1) 高校生アンケートの分析結果について

(2) 市民アンケート(村上地区)の集計結果について

会 長； それでは、次第の3報告に入ります。関連性がありますので、(1)及び(2)について事務局からお願いします。

事 務 局； 【(2) 高校生アンケートの分析結果について及び(3) 市民アンケート(村上地区)の集計結果について説明】

会 長； はい、それでは3の報告についてお聞きしたわけですが、このアンケートについて何かお聞きしたいことがあればお願いします。

委 員； (2)の1ページ目の満足度について、組織・職員改革というのがありますが、具体的にどのようなものがあるのかお聞かせください。

事 務 局； 市としての組織体制や行政の運営に関して、本庁が村上にあり、各地区には支所があるということで、色々な体系の中でのご意見が未だに数多くあります。合併して7年目に入っておりますが、なかなか均衡ある発展であったり、予算の編成や執行であったり、窓口としては同じなのですが、旧町村と市の合併の中で、この辺が、気持ちよくなり良くなったかということ、抵抗のある方があるということが反映されているのかと思います。

会 長； 支所関係だと暮らしと密着していますから、その辺まで行政に知り尽

くされていないと難しいのでしょうかね。

事務局； 確かに、合併前はそれぞれ相当の職員がいましたし、議会もありましたから、多くの来庁者もあったわけですが、そういった部分が集約されているということもあります。ただ、まちづくりについて言えば、逆にそういった所で頑張らなければいけないという考えになっていると思います。

会長； 私も10年前にまちづくりの団体に入って、未だにやっていますが、10年前と比べると非常に市役所へ来る回数が多い、市役所に行く方が会社に行くより多いといったらオーバーですが、10年前と比べると行政と住民の相互依存度が高くなっている。行政だけでは到底できないのではないか、市民だけでもだめだということで、ますます協働でのまちづくりというものをしっかりやって行かなければだめだと思っています。

事務局； そういうことだと思います。

会長； その他ございますでしょうか。それでは、4の議事に入ります。

4 議事

(1) 村上地区地域活性化推進事業について

会長； (1) 村上地区地域活性化推進事業についてを資料5に基づいて説明をお願いします。

事務局； 【(1) 村上地区地域活性化推進事業について説明】

会長； ありがとうございます。お手元のチラシ(案)ですが講演会のテーマは、ここに書かれてある内容で決定ということですね。

事務局； はい、村上版『まちの駅』を目指してというテーマで、きっかけ作りということで、村上地区には村上、岩船、瀬波、山辺里、上海府の5地区ありますので、それぞれで仮にまちの駅を設ける場合に、どういったものが良いのかということで、明石さんが全国的なまちの駅の事例を知っておりますので、5地区の概要を明石さんに説明し、各地区に合った形の提案を行っていただこうと考えております。

会長； このチラシについて皆さん何かご意見等ございますか。

委員； 何名くらい来られるという想定をしていますか。チラシを配って来てくださいますでは、なかなか集まらないと思います。

事務局； 各まちづくり協議会から10名程度お願いしたいと考えており5地区で50名、まちの駅と言えば地域の商店街や公共施設が想定されますので、そういった所に個別にお願いしたいと考えています。講演会の会場が150名のキャパシティがありますので、100名程度を何とか集めたいと思っております。

会長； さべりやきやチョコレートファウンテン、楽しみですね。

事務局； チラシに「写真ほか」となっていますが、さべりやきは既に文化祭等で試食されていますので、そういった写真やチョコレートファウンテンの写真も載せたいと思っています。

会長； チラシはカラーですか。

事務局； カラー刷りになります。ご承認いただけましたら、早急に印刷業者か

から見積りを取り、10月半ば過ぎには原稿ができると思います。できましたら、皆さまに確認のため送付したいと考えております。

会長； そういうことで、実施に向けて進めていくということですのでよろしいでしょうか。ありがとうございました。（1）については承認をいただいたということですのでよろしくお願いいたします。

（2）各地域の目指すべき施策の方向性の提言書作成の進め方について

（3）各地域の課題の整理について

会長； （2）各地域の目指すべき施策の方向性の提言書作成の進め方について及び（3）各地域の課題の整理について説明をお願いします。

事務局； 【（2）各地域の目指すべき施策の方向性の提言書作成の進め方について及び（3）各地域の課題の整理について説明】

会長； やさしく説明していただきました。分かったのですが、たぶん分かっていないのだろうと思います。言っていることは分かりますが、実際にまとめるとなると少し議論があったり、皆さま方からご意見を参考にしながら、こつこつまとめていくことになると思います。提出期限はいつまでになるでしょうか。

事務局； ただ今、政策推進課から説明がありました。資料3をご覧くださいと分かる通り、ステージ1とステージ2が、10月と11月で連続しております。そういった中で皆さんが集まっていただけの機会としては、今回と11月の1回の2回になると思われれます。皆さまお忙しいと思いますので、さらに集まっていたいて協議をする余裕はないだろうと考えております。つきましては、資料4の具体的事象の抽出シートに各委員が考える解決策等を加えて提出をしていただき、それらを事務局で取りまとめた上でフィードバックし、11月中に方向性の整理と議論を充実させた方がスムーズに進むのではないかと考えております。今日、政策推進課で示したシートについては、事務局で再検討させていただき、ステージ2までを委員各自で記入していただき、それらをまとめた上での協議とさせていただきたいと思っておりますので、ご協議いただきたいと思います。

会長； 時間があまりないということです。私を感じたのは、日々の暮らしの中で困っていることや改良点をシートに羅列していくことからスタートなのかなと思って聞いていました。皆さんも感じたことで結構ですのでお話しいただければと思います。

委員； 委員個人の意見で良いということでしょうか。それしかないですね。

事務局； はい。地域全体を捉えて抽出するのは難しいと思います。報告で配らせていただいた地区アンケートの結果を参考に日々の生活で感じる部分を抽出していただくということをお願いいたします。

委員； 各地域の課題整理の中で、（1）から（6）までであるが、買い物と交通というのは、一本にならないものでしょうか。

事務局； 一本で考えていただいても構いません。高齢者の買い物という大変で、山北地区あたりだと買い物をする場所もないということで、地区に

よって状況が異なるため、買い物と交通を分けさせていただきました。各委員の考え方で、一本でどちらかに記入していただいて結構です。また、全ての項目を埋めてくださいということでもなく、各委員が思う課題や事象について、そこだけを記入していただいて結構です。

会 長； 各地域で抱えている課題というのは、それぞれ違ってきますので、それらも踏まえてということです。

委 員； ステージ1からということですが、方向性まで出すということでしょうか。

事務局； 政策推進課としては、各委員の日常生活における課題を出していただくということで、解決策までは書けないものもあると考えております。課題の解決については、実際のところ市でもできないものもあります。

委 員； どうすれば良いか、というものもあってもいいのでしょうか。

事務局； それがあれば一番良いです。各委員の意見として、こういう課題があります。こうすれば良いと思いますというものがあれば、そのように記入して結構です。どうすれば良いか分からないものについては、課題だけの記入でやむを得ないと思います。

委 員； アンケートの結果を見ると、考えれば考えるほど奥が深い。子育ての前に子づくりをどうするんだということがある。子づくりをする環境として、非正規社員が増えていて、所得が300万円以下で子供を生める環境ではない。考えればきりが無い。そういう背景の中で提言をして地域の活性化に結びつけていくという中で、このアンケートの結果を見ると若い人は雇用の場というのを強く求めているという結果がある。具体的に私はこういうことを提言したい。というものを理想であれ夢であれ書いて意見交換するようなことで良いのでしょうか。例えば、地域の良さという回答では自然が豊か、食べ物おいしいというものがあります。地の利を生かした産業を育成し、安定した収入を得られる雇用創出になっていく。そういうものを具体的にまとめてから提案させていただきたいと思います。

会 長； 地方創生の論議をやっているわけではないですから、ここで政府が行っているようなことを議論しても本質的な解決策は到底浮かばないわけです。

事務局； 第1回の会議で各地区の目指すべき施策の方向性について、全体的な説明をさせていただきました。最終的に日常生活についての課題という一番具体的な部分で今回は提言書を作りたいということで、最終的にはあまりにも題名が大きい題名なものですから、後で変更したいと思っております。ですから、地区の目指すべき施策の方向性という幅広すぎるし、具体性も無いものですから、今回は地域審議会の皆さまには、それぞれの委員の方の思いが良いですから、通常生活している上でこんなところはもう少しこうあるべきではないか。というものを各地域として課題があれば挙げてほしいということで、少し具体性を持たせ、それを第二次村上市総合計画に反映させていきたい。委員からご意見は確かにそのとおりですが、大きなテーマでくくってしまうと触りようが無いと

いいですか、総合計画のような方向性になってしまいますので、その辺につきましましては市民目線でのご意見という形でお願いしたいと考えております。よろしく申し上げます。

会長； 大きなテーマは国でも持て余しています。それを地方に求めているんですよ。何か良いアイデアは無いのかということで、色々ぶら下げてやっているんだけど、特効薬なんてありっこないんですよ。

委員； 以前、片山前鳥取県知事のお話を聞きましたが、官僚に良い知恵なんて無いそうです。地方に丸投げして、地方はコンサルタント会社に頼んで、みんな失敗して儲かるのはコンサルタント会社で、地方のことは地方で考えて、みんなで作っていかなければだめなんだと思います。

会長； ベースは暮らしなんですからね。

委員； 移動販売とか配送サービスもやっていますが、現実的には、まだ足が丈夫で車に乗って買い物に行きたい人が多いです。農協でも食材配達もあり、なんとか結び付けたいと考えていますが、思ったようには行かない状況です。これは目に見えた問題ですが、現実はこのような状況です。

会長； 商売に成るか成らないかですからね。

委員； 移動販売をやっている人が生活ができないようであれば困るし、その辺の兼ね合いがあるのでしょうかね。

会長； 解決策という話し方でしたが、アイデアの出し合いでも良いのではないかと思います。

委員； 大きなテーマの解決策となると書けるものではない。車を運転できる人とお年寄りでは、買い物に対する関係も変わってくるので、交通と買い物を一緒に考えるというのは、そういうところにあると思います。

委員； あまりにも大きくて、子育てと言われても、子育てをしている人に聞かなければ分からない。市はどう考えているのか聞きたい。

事務局； 例えば子育てについては、遊び場が少ないとか、遊ばせたいけど近くにそういった場所がないとか、不便を感じる単純な課題で良いと思っていました。公園に遊具がないとか、連れて行ったけれどぶらぶら歩いて帰って来ただけだったとか。

委員； 最近、遊具は取り外してしまった。以前、事故があってから、全部の公民館にあったけど全部取り外した。賠償責任が出てきたということがあります。

事務局； 課題に対する解決策という説明をしましたが、必ずしも解決ではなく、課題を解決するために必要な周囲のフォローアップであったり、行政のフォローアップ、夢や期待など漠然としたものでも差し支えないと思います。村上には5地区があります。別々の意見が出て当然だと思います。交通の問題にしても JR の鉄道が通っている所とそうでない所があります。それぞれの地区で買い物を課題にしたときに便利な所と不便な所があると思います。村上にはそういった地区が混在しているということはこの機会に改めて出すということでも構わないので、身近な部分で率直なご意見を申し上げます。

副会長； 資料に地域審議会委員からの意見分ということで、第1次村上市総合計画の中間総括という中で、定住の里づくりアクションプランでは施策の方向性について、今まで議論していただいたと、今回は「日常生活の一部における課題」ということですが、かなりこれは、読めば読むほど深く問題はえぐられていますし、かなり具体的なんです。これとダブるようなことはないのですか。

事務局； それはダブっても構わないと思います。

副会長； 要するに大変積み残しが多く、基本的に最もだというものが多く出されていますし、そういう中で改めて課題の抽出を行うということで良いのですね。ということは、やはり相当読み込んでいないと同じような課題が多く出てくるのだらうと思います。積み残しがほとんどですから。結構勉強してからやらないと、何だこれという結果になるのではないかという気がしてなりません。

会長； 今のご意見は、実際に私も感じていることですが、暮らしの中の課題を出すとなると、出て来るのはおそらく現象的なことでの対症療法的なものになると思います。これは当然大事で、そこからスタートして出していった議論を重ねることで、本質的な部分は行政でしっかりまとめて行かなければならないと思います。私は勝手に何でもいいから出していきます。

事務局； 最終的に課題に対しての方向性は、今回の会議でまとめないと難しいと思います。副会長がおっしゃるように、第1次村上市総合計画の中間総括には、色々な積み残しやできていないものもたくさんあります。そういったものも課題の一つだと思います。そこから抽出して書いていただいても結構ですし、委員が朝起きて寝るまでの間にこんなことがあった、これは不便だな、これがあった方が良いなという単純な発想で結構ですので、それぞれの委員がこの地区でこんなことがありますと、例えば、村上市の市街地は道路が非常に狭くて歩きづらい。非常に交通の危険性というものを歩くと常に思います。そういった面で不便だと思ったり、自分が感じるものを箇条書きで結構なのでお願いしたい。その後で解決の方向性を考えてもらえれば良いです。最終的にまとめられないものは、事務局の方でまとめますので、最初からハードルを高くしてしまうと書けなくなってしまうので、皆さんが地域に暮らしている中で思っていることを書き上げていただければと考えております。

副会長； 私は、村上市総合計画審議会にも村上市観光協会長として出させていただいております。自治振興課から2月の末に照らし合わせてくれということで、相当部数直して審議会の方では積み残していることが出ています。あれは私、一字一句全部、前の佐藤課長とやったんですが、要は、こちらはこちらで地域審議会での部分で同じ作業をやることになると思うわけですが、地域の皆さんも来られています、私は村上市観光協会長として来ているという認識で、村上市観光協会長としては多くの課題をこれまで出しております。それらは村上市総合計画の方で引き継がれていると思います。そのような点は考えずに、村上市民として地域で

提案しなさいということですね。立ち位置をどうしたら良いのか。私にとっては、これを書くということは相当のエネルギーが必要です。

事務局； 今回の地域審議会では日常生活をお願いします。そして提言書ができて第2次村上市総合計画の方に反映させたい。村上市総合計画は市全体の施策として考えていきます。それとは一緒ではないので村上地域での日常生活での問題点がありましたらということでのお願いです。

委員； 平成25年5月に定住の里づくりアクションプランが出ています。4ページに戦略プロジェクト別の特に推進すべき施策の方向性というものが示されています。ほとんど見ると同じようなものが出ています。これ以外のものが何かあるのかとなると、探して行かなければ見つからない。頭の良い人たちが考えて作り上げたものだから、これはどうなのかと考えています。

事務局； 村上市総合計画を始め色々な計画全てが市として、この地区をこうしたいという議論では、どうしても同じようなテーマが主体になるものですから、どうしても作り上げていく方向性、最初の施策の方向性は、これから市をどうするのかという部分を書き上げてスタートしていくことになると、どうしても一緒になってしまいます。今日の資料にも配ってありますが、定住の里づくりアクションプランの中で村上地区としてあるものが3つありまして、村上駅周辺の活性化策を講じ、にぎわいのあるまちづくりを進める。美しい景観や歴史・風土を活かしたまちづくりを進める。農林水産業の振興に向けた取組を進める。という3つが村上地区の方向性として挙げられております。どうしても方向性と言ってしまったときに大きなテーマとなると、解決していない部分もありますので常に載ってくるのかなと、ご了承いただきたいと思います。

副会長； 確認ですが、あくまでも日常生活の一部における課題ということで、(1)から(6)ということのを頭に入れて、もう一度やるということですね。

事務局； 申し訳ございません。よろしくお願いたします。

委員； 医療がここには無いですね。

事務局； 具体的に医療とは書きませんでした。保健医療の分野も入れようかと考えましたが、福祉も保健医療も市の施策としてやっている部分が多いものですから、日常生活として考えたときにいかがかとなると、行政で行う福祉や保健医療の事業、病院で行うサービスの一環のものと、そこに行く間は日常生活なのかなと、その手前の健康づくりなどは日常生活に入るのかと、区分けに差があったものですから、保健医療などで気付いた点などありましたら、書き上げていただければと思います。

副会長； 基本計画では、その辺も詳しく載っています。医療保健はものすごく詳しく載っています。

委員； 雇用問題についても出ていないから、書かなくていいですね。

事務局； 雇用については、市の政策としてどうしても載せていかなければならない分野、大きなテーマなのものですから、皆さんの日常生活の中で、確かに雇用というと会社の社長であったりするとあると思いますが、常に

雇用が日常生活にあるかということとそんなことはないので、その部分は切り離していただいて結構だと思います。

会長； 暮らしの中で感じている違和感ということではないですが、やはり課題ですね。その辺をどう受け止めているのかということと、アイデア出しということですね。それと、この市民アンケートの村上地区の集計結果で住みやすい理由には、20年近く自然が豊かという点が挙がっています。すごい人気なんですけど、言っておきたいことは、村上市として行政の立場として、村上市環境基本計画の中にある環境の保全・保護に関して、かなり力を入れているかということとまるでだめ。ゼロよりマイナスの世界ではないかと感じています。書いてあるだけで。村上市環境基本条例を見ると素晴らしいものです。私は、あれを聖書としても良いと思っていますが、そういった点も含め何でも良いから書くと、当然行政批判というものも中に入ってきて良いのではないかと思いますので、お気遣い無くどんどん書いてください。お互いに行政も市民も足りない部分がある中で、一緒に何とかやっていこうということですね。

事務局； 指摘を受けなければ良くなりませんから。村上市環境基本条例が実態とは違うということは伝えておきます。どうぞ挙げていただきたいと思います。

委員； (1)の遊び場がないというのは、遊び場があっても子供がいないです。誰もいないんですよ。子供が出てこない。少ないのか家にいるのか、家にいれば安心だということになるのか本当に少ないです。地域で団体競技を10月11日にもやるけれど、団体競技ができなくなっています。子供がいないです。各町内で2人、3人で日中はほとんど子供は見ません。昔は瀬波小学校が1番子供が多くて、2番目が村上南小学校だったが、今では逆転している。

委員； 現在、上海府の小学校の児童数は27名です。運動会とかは学校だけではできないのでコミュニティで住民と学校で共催でやっています。上海府地区は全体のまとめ、絆が深く、朝早くからみんなが出てきてやっています。それが上海府地区の誇りです。10月18日には文化祭がありますが、そちらも一緒になってやります。

委員； 子供が少なくなったのは、いくら議論してもできないですよ。国がやっても解決策が出せないのだから。

委員； 上海府小学校は、来年8人卒業して1人しか入学しないので20人になります。

会長； 村上で言えば、あと数年後には祭りができなくなるという課題があります。岩船、瀬波も同じことが言えます。それを書いてしまうと、奥が非常に深くなってしまいます。

委員； 祭りもできないようでは、夢も希望もないような話です。もう少しそういうものを抜け殻にしないで出していくべきではないでしょうか。

会長； 本来であればそうですね。ただ、最初から入口を重いテーマにしてしまうとね。じゃあどうすれば良いのかということ、暮らし方を見つめ直していく、やれるところからやっていくというようなことだと思います。

まず、提案書は、日々の暮らしの中で感じていることということから入っていったら良いのではないのでしょうか。

委員； 少人数でやることというものは、結局は絆を強くして、そこで団結してやるということが力になるのだと思います。大勢のところと比べたりできないのですが、それでできることを考えるしかないのだと思います。私は、よく小学校から話をしてくれということと呼ばれて行きますが、そこで、子供達に村上から離れてどこかへ行くのか聞くと、みんな行かないでここに残ると言います。何故かというのは村上が好きだからなんです。ある程度成長すると、勉強やしたいことができ飛び立っていくわけです。私は世界中どこへ行っても構わないから全部行ったら、その知識を故郷に持って来るようになればいいと思っています。例えば、竹灯籠まつりで昨日は山へ行ってきたのですが、そういう感動する場所が故郷になるということをしかりと子供のうちに経験させておくと、時期になるとたまに行ってみようかと帰って来る。村上とパイプのある子供達や人をたくさん作ることが大事ではないかと思っています。今は、青砥武平治さんの青砥さんや長尾さんなども村上に住むようになってきています。そういった村上に昔関係のあったお殿様の子孫とか、もっとパイプを深くして、行ったり来たりするような街になっていくことも一つの方向だと思って、何かの会があるとそのたびに話をしていますがなかなか浸透していません。本庄繁長からずっと名簿を作りパイプを作っていく、応援団になってもらうということをソフト面でやってみるといいと思っています。子育て、買い物と言ってもピンと来ません。買い物と言うと六斎市が昔の3分の1位になっている。それは、朝市などが色々な場所にできて、その方が手っ取り早いし、出て来る人が高齢になったからということで先細りになっているけれど、六斎市というのは昔からの歴史のある価値あるものなので、どうにか残していきたいと思っています。人口が減少しているということには、雇用が無いとか色々原因はあるけれど、どうしたらいいかとなると難しい。ジャムコなどの工場関係では、求人は出しているけれど来ないということです。募集をかけても若い人が来ないのです。何か価値観も代わってきているだろうし暮らしという部分でなのではないでしょうか。

委員； 一応、募集はするけれど、例えば50人募集しても半分はだめだと言われるそうです。それだけ意欲を持って会社に入りたいという人が少ないそうです。半分止まりしないそうです。3日来れば辞めてしまうそうです。そんなもんなんですね。ここにしがみ付いていきたいというものが無い。仕事をしなくてもご飯を食べられるという考えを持っているのかもしれない。

委員； 私のところでも、修行と雇用は違うということを知っている若い人たちは知らないから、休みもきちんと土日と言う。

委員； 今の旧市町村単位の地域審議会と同じやり方で提言書を出すということですか。村上であれば、山辺里もあれば上海府もある、各委員が住んでいて常に思っていることの吸い上げを参考意見として提言書を村上

市総合計画に活かしていきたいとおっしゃっている。ただ、今日は、協議資料については、当日配布で何を話すのか分からない。日数が無いからできることであれば今日お願いしたいと言う。少しそれでは性急過ぎると思います。村上市総合計画に活かしていけるような提言に持っていけるのか不安です。

委員； 他の地区の地域審議会では、どのような状況ですか。

事務局； 村上地区地域審議会が一番最初でした。スケジュール的に厳しいのは本当にご迷惑をかけていると申し訳ないと思いますが、正直なところ市長選挙の関係で地域審議会だけではなく、総合計画、総合戦略を含め3か月ほど遅れている関係で全て先送りせざるを得なかったものですから、凝縮した中でのスケジュールでお願いしております。提案したものについては、各地区の地域審議会、村上であれば、村上、岩船、瀬波、山辺里、上海府など色々あり、それぞれ違うものが出てくると思いますし、同じものも出てくると思います。全部を書き出したものをくっつけるという形ではなく、その中で地域性の強いものを事務局で整理した中で提言書として出したいと思っています。全てを出しても提言書になりませんので、どこかでは整理しなければならないので、そこは事務局で行わせていただき、皆さまにこれでよろしいでしょうかという形になると思います。期間は短いとは思いますが、なんとか1月には提言書としてまとめたいというスケジュールなものですから、お願いしたいと思います。期限については、各地域審議会の事務局と委員の皆さんとの調整が必要になりますので、私どもの方でこうして出してほしいとは言えませんが、よろしく願いいたします。

会長； タイムなスケジュールは仕方が無いということですがいかがですか。

委員； 政策推進課と自治振興課でのすり合わせもまだ十分行われていないように感じます。その他を含めて6項目出してあるけれども、その他の部分で医療も出して良いということですし、あるいは関心のある部分であったり地域性によって必要な項目だけで良いと言う説明もしました。まず、期限を区切っていただければと思います。

委員； 子育ての関係ですが、各地区に保育園がありますが、山辺里保育園がすごく人気があります。すぐに定員が一杯になってしまって、日下の子供が地元の山辺里保育園に入れなかったことがあり、上海府保育園であれば空いていると言われたそうです。山辺里から上海府まで通えないですよね。入園希望が多いところの募集枠を広げるなど臨機応変な対応はとれないのでしょうか。

事務局； 各保育園には、1歳児の定員、2歳児、3歳児とそれぞれに定員がありまして、今は乳児の保育、共稼ぎの若い夫婦が多くなり、実家に預けたくても姑さんとうまくいってなくて預けるのが難しかったり、保育料が高くても1歳児からという家庭が増えています。どうしても1歳児の人気があり、特に村上地区と荒川地区で希望する保育園にへ入れられないという実態があります。山辺里から上海府は距離がありすぎるので、近くで何とかという調整はありますが、やはりどうしても空いている保

育園がありますので。山辺里や荒川保育園だとすぐに満員になってしまふ。確かに新しくて人気があるということはあると思いますが、偏りがありまして市でも課題となっております。それを何とかしようという話が出ております。ただし、定員を増やすには施設の建物を大きくする以外に定員を増やせませんので、定員を増やすことは難しいのですが、問題になっております。そういった点を保育の中の課題として、近くの保育園に通園できないということを意見として挙げていただければ良いのかなと思います。また、遠い保育園へ通園させていますということも課題だと思います。

委員； 村上市全体としては、保育園に入園できない子供というのはいないのでしょうか。

事務局； それはありません。俗に言う待機児童と呼ばれるものではありません。空いている保育園はあるけれど、遠い保育園には行きたくない、待機児童はいないけれど希望する保育園に入られないというのが実態です。

会長； 先行きは、村上市総合計画の中に盛り込まれるということです。お話を聞いていると提言書ができていくのかなと安心したところです。

事務局； 皆さまの審議の内容を聞いておりましたが、漠然としていて難しい問題があるということも受け止めさせていただきました。そこで、本日配布した資料4のシートにつきましては、もう一度、政策推進課と協議を行い、早急に見直し、できれば1対1で出せるような、例えば、日常生活において具体的にこういったことが困っている、それに対応してこうなれば良いとか、こうあるべきだというようなものを、相対で出せるような形で、なおかつ（1）から（6）の分類についても、資料3の様式が機軸になりますが、（1）子育てであれば子育てと簡単に作っていただけるような、思ったことをどんどん書いていけるようなシートを作りたいと思っております。今週中には皆さまに送付させていただき、目安として2週間程度期間を取らせていただき、遅れてもやむを得ないので一旦提出していただきたい。その後、事務局で11月の日程調整と合わせ集約させていただき、皆さまへフィードバックするという形を取りたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。できるだけ手を煩わせずに考えずにストレートに記入できるようにしたいと思っております。漠然とした回答の仕方でも構いませんので、1対1で皆さんが記入していただけるようにしたいと思っておりますので、ご了承いただきたいと思っております。また、電子データで回答したいという方は、資料をお送りした際にご連絡をいただければ、メール等でお送りする対応もいたしますので、後日、お知らせさせていただきたいと思っております。

委員； 今月いっぱいですか。

事務局； お送りしてから2週間程度を目途とし、遅くとも今月いっぱいにはお願いできればありがたいと思っております。

会長； そのようなことで進めてよろしいでしょうか。

一同； はい。

会長； それではそのように進めてください。5のその他に入ってよろしいで

しょうか。

5 その他

会 長； その他で皆さんからございますか。

委 員； 今日の話とは関係がないのですが、浅野副会長にお聞きしたいのですが、新聞に村上カフェという記事があったのですが、あれについてお聞かせください。

副 会 長； 私は都合が合わず行かれなかったのですが、10月1日から表参道、青山、麻布までは入っていませんが、表参道を中心に7軒を貸し切り、一部で瀬波温泉の足湯も入って、全部村上の食材を使用して農林水産課が中心になって地方創生でだいぶ練りまして、1か月間全部村上でうずめてしまうということで、あえて宣伝はしないということで、これは博報堂さんでだいぶ練りまして、これからじわじわと広がっていくと思います。チラシは作らず、ネットでは全部ご覧いただけるようになっていきます。村上市観光協会でも支援し発信していくという格好になります。これは、博報堂さんの戦略で、これから芸能人、著名人の方から発信していくということで段取りが決まっているそうです。1か月間開催していますので、東京へお出かけのときに、村上市観光協会でも出しますが、市のホームページからも出てくると思います。店の名前など既に全部出ています。あえてパンフレット等は作らないでやっているそうです。原宿から青山の界隈に芸能人や文化人が相当密集して住んでいますので、相当来るだろうと見込んでおりました、期待しているところです。紙をなくしてネットでやっていくという戦略で、宣伝に金が掛かっていない分、費用も抑えられています。地方創生のお金ですので成功するかどうか、もうしばらくかかると思います。

委 員； シートは、新しく送られて来るのを待って、届いてから記入すると言うことで良いのでしょうか。

事 務 局； 今週中にはお送りします。

会 長； その他ございませんか。それでは、その他を終わります。

事 務 局； ありがとうございます。それでは、次第の6になります。副会長から閉会の挨拶をお願いいたします。

副 会 長； 最後、宿題が出たのですが、先日、国勢調査をネットでやりましたら、ばか簡単だったんです。以前は、国勢調査というと面倒くさかった。また同じことをやるのかと思ったら、だいぶ1対1で相対でやるようですから、安心して答えられるかと思えます。皆さんそれぞれお忙しい方たちばかりですが、一生懸命に村上市のために、私たちのためにやって行きたいと思えます。本日はどうもありがとうございました。

6 閉会 (15:05)